

考えよう！

男女の協力関係

6月23日から29日までは、男女共同参画週間です。男性と女性が、職場で、学校で、地域で、家庭で、それぞれの個性と能力を発揮できる「男女共同参画社会」を実現するためには、皆さん一人ひとりの取り組みが必要です。

私たちの周りの男女のパートナーシップ(協力関係)について、この機会に考えてみませんか？



国では、「カエル！ ジャパン！」をキーワードにワーク・ライフ・バランスの推進を行っています。

カエルのイラスト：タカノキョウコ

ワーク・ライフ・バランス

仕事と生活時間を大切にする生き方について見直しましょう！

すべての人が、「仕事」と育児や介護、趣味や学習、休養、地域活動といった「仕事以外の生活」との調和を取り、その両方を充実させる働き方・生き方のことです。

しかし、現実には「安定した仕事に就けず、経済的に自立できない」、「仕事に追われ、心身の疲労から健康を害しかねない」、「仕事

「ワーク・ライフ・バランス」とは？

と、子育てや親の介護との両立が難しい」などの理由で、多くの人がワーク・ライフ・バランスを実現できていません。

そもそもワーク・ライフ・バランスとは、単に仕事と生活に割く時間を半々にするという意味ではありません。

仕事と生活のうち、どこに重点

平成26年度 内閣府キャッチフレーズ

「家事場のパパデカラ」

「男女共同参画社会」の実現のためには、男性が、企業人としてだけでなく、家庭人としても豊かな生活を送ることが大切です。

労働時間を工夫しながら、女性と共に家事・育児・介護・地域活動に関わり「家事場のパパデカラ」を発揮しましょう。



を置きたいかはその人の生き方、働き方によって異なります。また、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて変わってきます。

つまり、ワーク・ライフ・バランスが目指す姿は、それぞれの人の置かれた状況に応じて仕事と生活のバランスを取ることができるようになることで、多様な人材が自分の事情に合わせて働くことのできる社会なのです。

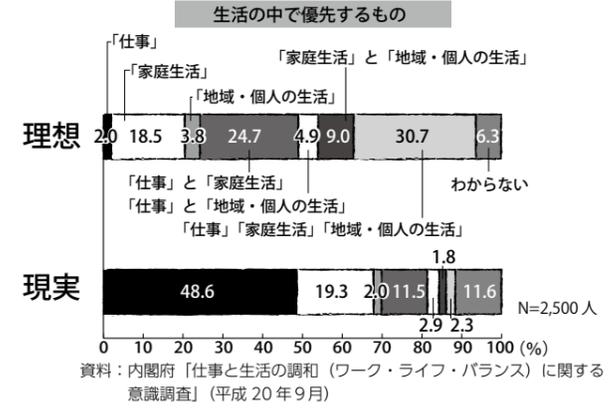
人生で大切にしたいこと。そのとき何を選択し、どれだけの時間をかけるか。その選び方はみんな違います。

あなたが大切にしていることは、何ですか？

ワーク・ライフ・バランスの実現には、家族の理解と協力が必要です。

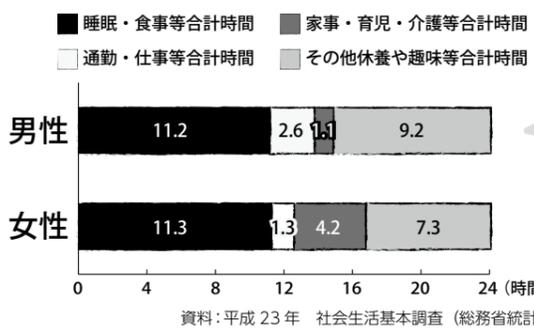
共働き世帯が増えるなか、男性も主体的に家事や育児に参画していくことが必要です。

仕事と生活の調和に関する理想と現実



両立を理想としている方が多いですが、現実には「仕事」優先になってしまっています。

日曜日の男女の生活時間（滋賀県）



女性の家事、育児、介護の合計時間が男性に比べて多くなっています。

男女の生活時間はこんなに違いが！

※各グラフとも端数処理の関係で合計と内訳が合わない場合があります。

Check!!

チェックが多いほど充実して毎日過ごしているはずだよ。

あなたの「やる気」と「ゆとり度」をチェック!

- 家事、育児などは家族と協力し合っている
- スポーツなどで健康維持に努めている
- 朝は気持ちよく起きられる
- 地域活動やボランティアに参加している
- 充実した余暇や趣味の時間を過ごしている
- 食事は毎日おいしく食べている
- ほぼ毎日、十分な睡眠時間がとれている
- 平日でも子どもの学校行事に参加している
- 夕食はほとんど家族と一緒に食べている
- 残業は少ない方である
- 職場に相談できる仲間がいる
- 仕事にやりがいや充実感を感じている
- 有給休暇等の制度を有効に利用している
- 職場以外の友人も多い



まずはできることから！

- ① 働く時間の使い方をカエル!
- ② 育児、家事の分担をカエル!
- ③ 未来の時間をカンガエル!
- ④ 自分の時間の使い方をカンガエル!

みんなが大切にしたいことが、いつもバランスよく展開できると、ココロに余裕が生まれて元気でいられるし、周りの人にも優しくなれそう。





今年度もさまざまな事業を行います！
ぜひご参加ください。

男女共同参画推進協議会 (別称：ハーモナイズ高島)

家庭・地域・学校・職場などあらゆる分野で性別に関わりなく、その個性と能力を十分に発揮できる社会の実現に向けて、フォーラムや研修会などを開催しています。
会員も募集しています。詳しくはお問い合わせください。

平成 25 年度の事業から



男女共同参画 一歩進んでみませんか？フォーラムを開催



市内で女性の支援を行うリパティ・ウィメンズ・ハウスおりーぶの山本さんのお話を聞きました

びわこ一周さんかく映画祭

男女共同参画週間に合わせて、滋賀県内の男女共同参画センターが各市にある男女共同参画推進施設と連携して開催します。

- 日時 7月4日(金) 13時30分～
- 場所 働く女性の家
- 内容 映画『ユキエ』鑑賞とみんなでトーク
- 参加費 100円(コーヒー付)
- その他 託児あり(1週間前までに申し込み必要)

初老を迎えたアメリカ人の夫とアルツハイマーにおかされた日本人の妻の夫婦愛のドラマ！「スロー・グッバイ」(ゆるやかな別離)にいたる夫婦の日々、生きること、愛することの美しさを、深い感動で伝えます。



わいわいトークしよう♪

岡市民協働課 ☎(25) 8526

男女が共に輝く 高島市を目指しましょう♪

市内では、次のような男女共同参画に関するさまざまな取り組みが行われています。
男性・女性問わずこのような取り組みにご参加いただき、一人ひとりが、男女が共に輝いて生きることができるよう高島市を目指しましょう。

男女共同参画 の取り組み

問い合わせ・申し込みは
働く女性の家 ☎(22) 5775

三年目の女性学

毎月さまざまな映画とトークで、女性、男性が抱えている問題を掘り下げます。

映画から生きる知恵や勇気をもらいませんか？

- 日時 6月21日(土) 14時から
- 場所 働く女性の家
- 内容 映画『カッコーの巣の上で』鑑賞とトーク

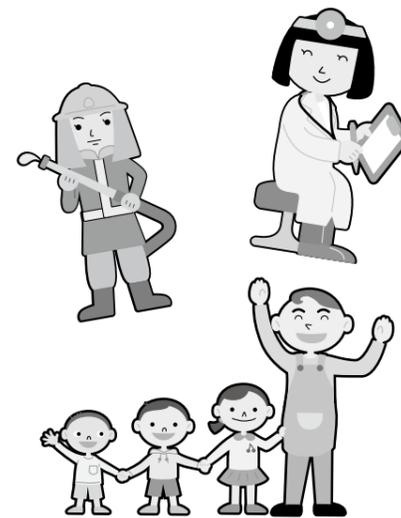
- 参加費 無料
1975年のアカデミー賞5部門を独占。ある精神病院の管理者と患者達を描き、1970年代のアメリカ社会と人間を象徴する感動作です。
※申し込みは不要です

女性のための悩み相談

夫婦・家庭・子育て・仕事や学校、恋愛のこと。誰にも話せないと一人で悩みを抱えていませんか？女性カウンセラーが解決策と一緒に考えます。毎月4回開催。予約制。(関連記事 32 ページ)

- 場所 働く女性の家
- 予約電話 ☎(22) 4052

男女共同参画



地域や教育の中でも

仕事や家庭の場面だけでなく、地域や教育の中でも男女共同参画の推進が求められています。

○地域の中では

市内の区・自治会の中で女性が代表または副代表である割合は、5%未満と、地域の中での女性リーダーはまだまだ少ない状況です。
重要なことを決める時、男女双方の視点や、子どもや支援が必要な人の声を反映するしくみを作る

ことが、安心して暮らしやすいまちづくりにつながります。
地域の役員を決める時にさまざまな人が選ばれるようにする工夫を取り入れながら、活気ある地域づくりを進めましょう。

○教育の中では

「男らしさ」「女らしさ」よりも「その人らしさ」を大切に、個性を生かして育てましょう。
医師や消防士、電車の運転士などで活躍する女性、看護師や保育士として能力を発揮する男性も増えています。進学や就職などでは、個性を尊重した選択を促しましょう。

男女共同参画で増やす 家族の笑顔

理想とする仕事と家庭生活のバランスを実現させ、家族の笑顔を増やしませんか？
今、育児や家事を楽しみ、自分自身も成長する男性「イクメン」「カジダン」や、「ケアメン」「イクメン」が注目されています。

「イクメン」は育児を楽しんで行う男性のこと
「カジダン」は家事に積極的な男性のこと
「ケアメン」は親やパートナーを介護する男性のこと
「イクメン」は、地域活動に積極的に参画し、地域に貢献しようとする男性のことだよ。



募集中！

イクメン・カジダン 写真コンテスト作品

- 応募資格 市内に在住・在勤・通学している方
- 作品規定 写真データ(3MB以内、JPG形式)またはプリント。写真2L判前後。1人1点。(合成、加工不可)

高島市男女共同参画推進協議会では、育児や家事に積極的に参加している男性を撮影した写真コンテストを開催します。優秀作品は9月のゆめぱれっとフェスタで表彰します。ぜひご応募ください。

- 応募方法 応募用紙に必要事項を記入の上、メールまたは郵送・持参
- 応募締切 8月30日(土) 必着
岡働く女性の家 ☎(22) 5775